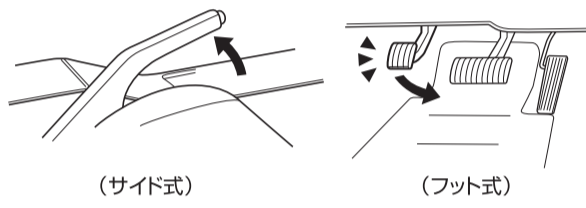
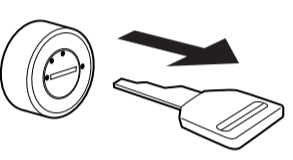
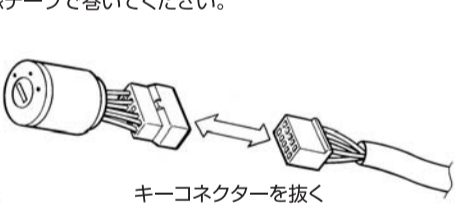
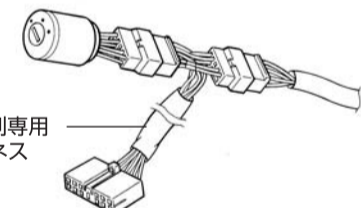
TE590/825/840 取付マニュアル

※本品のP/N検出データは、バッテリー交換などで本品の電源が断ち切られた際には消去されます。そのような場合は本マニュアル ⑧ を参照の上、P/N検出データの再設定を行なってください。

※本品の取付けは、必ずこの手順に従って行なってください。
※裏面記載の警告・注意事項をよくお読みになってから作業を行なってください。
※FAXから車種別ピットマニュアル（配線情報）を取出すことができます。詳しくは店頭の車種別ハーネス適合表をご覧ください。（誠に勝手ながら用意が出来ていない車種もございます。また、ピットマニュアルはオプションなど全ての配線を網羅するものではありませんのでご容赦ください）
※必要に応じて車両部品の取外しや加工が必要になります。
※車両配線への接続を行なう際は、ショート等を防ぐため、車両バッテリーのマイナス端子を外した状態で行なってください。お守りいただけない場合、以下のような危険がありますのでご了承ください。
▼通電中のコードをワンタッチコネクターでカシメる際、カシメ工具（プライヤー）が車両ボディ（アース）に接触すると、プライヤーを通じてショートする恐れがあります。
▼各コネクターを差し込む際、ドライバーなどの金属物で押し込んだ場合、コネクターの端子間でショートする恐れがあります。
※余った配線類はショート等を防ぐために確実に絶縁処理を行ってください。また、ワンタッチコネクターやハーネスなどの接続部分には必ず絶縁テープを巻いてください。

❶ 取付け位置を仮決めする （この時点では車両への固定は行なわないでください）

車両に合ったおおまかな取付け位置を決めておきます。運転操作や視界の妨げにならないよう注意してください。

アンテナユニット・・・・・ダッシュボード上に固定する位置を決めます。エアバッグ等の動作を妨げないよう注意してください。

メインユニット・・・・・・・アンダーダッシュ内に固定する位置を決めます。設定スイッチが切替しやすい位置に取付けるとメンテナンスがしやすくなります。

❷ 車種別専用ハーネス（別売）を車両に取付ける

車両のキーコネクターを抜き、その間に車種別専用ハーネスを接続します。

⚠注意 車種別専用ハーネスの接続位置は「キーシリンダー裏」もしくは「キーシリンダー裏から出ているコードにつながっているコネクター」です。それ以外の場所に接続すると車両故障の原因となりますのでご注意ください。

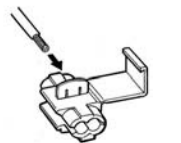
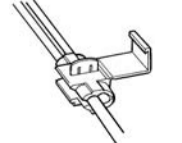
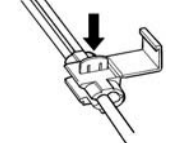
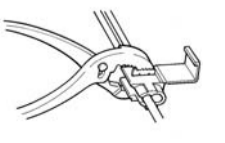
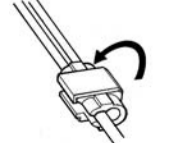
⚠注意 コネクターはしっかり奥まで差し込んでください。差し込みが浅い場合、車両故障や動作不良の原因となります。差し込んだら、接続部を絶縁テープで巻いてください。

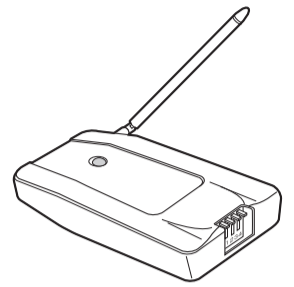
キーコネクターを抜く

❸ アースコードを車両に取付ける

車種別専用ハーネスのアースコードを、車両の金属部分を固定している塗装していないボルトに共締めします。

⚠注意 アースが不完全であることが動作不良につながるケースが多いため、接続場所には充分注意してください。

⚠注意 オーディオ、ナビゲーション等、他の電装品と同じ場所にアースコードを取付けないでください。作動不良や、オーディオのメモリーが消失する場合があります。

❹ サイドブレーキ検出コードを車両に取付ける ※必要な場合のみ

車種別専用ハーネスのサイドブレーキ検出コード（橙の細コード）を、「車両のサイドブレーキ（パーキングブレーキ）を掛けたときに0V」かつ、「解除したときに12V」となるコードにワンタッチコネクターで接続します。（寒冷地などで、駐車時にサイドブレーキを使用しない場合は接続する必要はありません。）
サイドブレーキ検出コードを接続した場合は、メインユニット設定スイッチNo.1「サイドブレーキ検出キャンセル」をOFF（上側）にしてください。
※車種別専用ハーネスにサイドブレーキ検出コードが差さってない場合、ハーネス同梱のサイドブレーキ検出コードをハーネス付属の説明書に従って13Pコネクターの指定位置に差し込んでください。

ワンタッチコネクターの使い方

① 本品のコードを入れる ② 車体側の接続コードを通す ③ 仮止めする ④ プライヤー等で金具を押し込む ⑤ カバーをして、絶縁テープを巻く

❺ アンテナユニットをメインユニットに取付ける

アンテナユニットのコードを、ダッシュボード上からアンダーダッシュ内に引き込み、コネクターをメインユニットに差し込みます。
配線を取り回した後、アンテナユニットを両面テープでダッシュボード上に取付けます。
（両面テープはアンテナユニット底面の技術適合証明ラベルを避けて貼りつけてください。）
アンテナユニットのロッドアンテナは必ず一杯に伸ばして取付けてください。縮めたままでは送受信の距離が短くなります。

❻ イモビ付車対応アダプター（別売）をメインユニットに取付ける ※必要な車種のみ

（ニッサンシフトロックアダプター及びレジェンド用DPSアダプターが必要な車種も、この時点で接続を行ないます。）

純正イモビライザー装着車の場合のみ、イモビ付車対応アダプター（別売）が必要です。
イモビ付車対応アダプター（別売）の取扱説明書を参照の上取付けてください。
また、各アダプターの取扱説明書に「リレーボックス」と記載されている場合、本品の「メインユニット」を指しますので取付けの際はご注意ください。

取付けるアダプターによって以下のようにメインユニット設定スイッチを切り替えます。

	メインユニット設定スイッチ	
	No.6（シフトロックアダプター）	No.7（OP端子出力）
TE412/416	OFF（なし）	OFF（A）
TE413	OFF（なし）	ON（B）
RE220/221/222	ON（あり）	OFF（A）
レジェンド用DPSアダプター	OFF（なし）	ON（B）

❼ 車種別専用ハーネス（別売）の13Pコネクターをメインユニットに差し込む

車種別専用ハーネスの13Pコネクターをメインユニットにしっかりと差し込みます。

参考 ハーネスの長さが短く、メインユニットを ❶ で仮決めした位置に収納できない場合は、別売のTE201「延長ハーネス50」を使用してハーネスを50cm伸ばすことができます。

❽ P/N検出が行なえるかどうか確認する

＜P/N検出データの設定手順＞

※設定は車に乗り込んで行います。

記号の見方

━	長い音（ピー）
●	短い音（ピッ）

セレクトレバーを「P」にしてキーを抜く
↓
リモコンでエンジンスタート操作をする（STARTボタンを押す）
→ エンジンが掛かる場合：P/N設定済みあるいはフット接続済みです。（このままお使いください）
↓
アンテナユニットから「ピー・ピー・ピー・ピー」×2回鳴る ━ ━ ━ ━ ×2
※他の音が出る場合は取扱説明書の「エンジンスターター機能が作動しない場合」を参照
↓
20秒以内にキーをON（メーターパネルが点灯する位置）にする
→ （NG）：アンテナユニットから「ピ・ピ・ピ・ピー」×2回鳴る ● ● ● ━ ×2
↓ ハーネス品番およびハーネス取付状態を確認してください。
※20秒以内にキーをONに出来なかった場合は、もう一度最初から設定を行います。
（OK）↓ ※OK・NG いずれかの音がするまでそのまま待機
アンテナユニットから「ピー」と1回鳴る ━ ×1
↓
20秒以内にブレーキを踏んでセレクトレバーを「R」にする
→ （NG）：アンテナユニットから「ピ・ピ・ピ・ピー」×2回鳴る ● ● ● ━ ×2
↓ メインユニットのP/N検出モードスイッチを切り替えて（取扱説明書の「P/N検出時のST1/ST2切替」を参照）再度設定を行います。
※20秒以内にセレクトレバーを「R」に出来なかった場合は、もう一度最初から設定を行います。
↓ P/N検出モードを切り替えても設定できない場合
↓ P/N検出の設定ができない車です。車種別専用ハーネスの「フットブレーキ検出コード」を、「車両のフットブレーキを踏んだときに12V」かつ、「離したときに0V」となるコード（通常はブレーキペダルの根元にあります）に、付属のワンタッチコネクターで接続します。
また、フットブレーキの配線を行なった場合は、メインユニットの設定スイッチNo.2（フット/PN切替）を「フット」（OFF側）に切り替えてください。
（OK）↓ ※OK・NG いずれかの音がするまでそのまま待機
アンテナユニットから「ピー」と1回鳴る ━ ×1
↓
設定完了

❾ エンジンスターター機能の動作を確認する

1. 車両のシフトレバーを「P」の位置にして車両のキーを抜き、サイドブレーキをしっかりと掛けます。
2. リモコンでエンジンスタートの操作をします。
3. エンジンが正常に始動するか確認してください。
4. エンジンが始動しない場合は取扱説明書の「エンジンスターター機能が作動しない場合」を参照の上、設定などを確認してください。

❿ ドアロック機能の配線を行なう（ドアロック適合車種のみ）

⚠注意 別売のドアロックアダプターが必要な車種は、各アダプターの取扱説明書に従って配線を行なってください。

ドアロック制御方式 ＼ 本体	TE840	TE825	TE590
マイナス制御の車	別売アダプター等は必要ありません	別売のドアロックコード（TE202）が必要です	
マイナス制御以外の車	店頭の車種別適合表を確認の上、指定されたドアロックアダプターが必要です		

⚠注意 車種により、ドアロック機能が使用できない場合があります。店頭の車種別ハーネス適合表で適合を確認した上でお取付けください。適合車種以外の車にドアロック配線を行なうと車両故障や不具合の原因となります。

マイナス制御の車への配線方法

1. ドアロックコードの緑コードを車両のドアロックスイッチを押した時に0V（アースと導通する）、スイッチを離した時に＋12Vになるコードに付属のワンタッチコネクターで接続します。
2. ドアロックコードの青コードを車両のドアアンロックスイッチを押した時に0V（アースと導通する）、スイッチを離した時に＋12Vになるコードに付属のワンタッチコネクターで接続します。
3. ドアロックコードのコネクターを、メインユニットのドアロックコネクターにしっかりと奥まで差し込みます。

⓫ ドアロックの動作を確認する（⓾ でドアロック機能の配線を行なった場合のみ）

車両のキーを抜き、全てのドアを閉めてから、リモコンでドアロック・アンロックの操作を行ない、正常に動作するかどうか確認します。

⓬ 内気温センサーを取付ける（TE840のみ）

メインユニットの内気温センサー差込口に、内気温センサーのコネクターを差し込みます。内気温センサーのコードは付属の「内気温センサー固定金具」で運転操作の妨げにならない様に固定ください。
尚、内気温センサーの先端はできるだけ温度の影響を受けにくい場所になるように取付けてください（熱を発する電子機器やエアコンの吹出口などからなるべく離れるように調整してください）。

⓭ メインユニット・アンテナユニットの設定スイッチを設定する

希望する設定になるように、メインユニットおよびアンテナユニットの設定スイッチを設定してください。
設定が完了したら正しく動作するかどうか必ず確認してください。確認後、付属の結束バンド（大）でメインユニットをアンダーダッシュ内に固定します。

完　了

※取扱説明書を参照し、ステッカー類や付属品をセッティングします。

CARMATE

取付概要図

※本面は取付概要図です。実際の取付けにあたっては、必ず裏面の「TE590/825/840取付マニュアル」記載の内容に従って作業していただくようお願い致します。
※本品のP/N検出データは、バッテリー交換などで本品の電源が断ち切られた際には消去されます。そのような場合は本紙裏面 ⑧ を参照の上、P/N検出データの再設定を行なってください。

車両への配線が必要な部分

「サイドブレーキ検出コード」「フットブレーキ検出コード」「L端子コード」の配線を行う場合は、必ずメインユニット設定スイッチを切替える必要がありますのでご注意ください（右表参照）。

橙(細)：サイドブレーキ検出コード
※必要な場合のみ
（引いて0V・下ろして12Vのコードへ）

紫(細)：フットブレーキ検出コード
※P/N検出の場合は不要
（通常0V・踏んで12Vのコードへ）

茶(細)：L端子コード
※必要な場合のみ
（エンジンルーム内のオルタネータから出ているコードのうち、バッテリーへ行く太いコード以外で、イグニッションON時に約+2V以下の電圧で、エンジン始動後に+12Vが出るコードへ）

黒：アースコード

13Pコネクター

← キーシリンダーにつながっている純正コネクターを一旦抜いて本ハーネスを割り込ませる

車種別専用ハーネス（別売）

緑：ドアロックコード（ロック時アースを出力）
青：ドアアンロックコード（アンロック時アースを出力）

ドアロックコード（TE840のみ標準）
ドアロックアダプター（別売）が必要な車種の場合、アダプターの取扱説明書に従って取付けてください。

ドアロックコネクター

アンテナユニット
※ダッシュボード上取付
アンテナは一杯に伸ばしてください。

アンテナユニット設定スイッチ

P/N検出モードスイッチ　メインユニット設定スイッチ

メインユニット
※アンダーダッシュ内に取付
取付け場所が狭い場合は延長ハーネスTE201（別売）でハーネスを延長

メイン電源ヒューズ（5A）

拡張コネクター（5P）

内気温センサー（TE840のみ標準）

※内気温センサー及び外気温センサーの差込口はTE825/840のみ装備

外気温センサー（別売）差込口

オプション端子（黄）
イモビ付車対応アダプター（別売）またはニッサンシフトロックアダプター（別売）の接続コード
※各アダプターを接続した場合は、右表参照の上メインユニット設定スイッチを切り替えてください。

ステッカー類を貼る位置

危険シール…………… エンジンルーム内の目立つ場所に
モードシール………… 運転席ドアを開けた時に見えるドアの付け根付近などに

■ のところは、工場出荷時標準設定です。

アンテナユニット設定スイッチ

	1 ID書込	2 セル回転時間	3 アイドリング時間	4 ターボタイマー ※TE825/840のみ
OFF	通常	短め	15分	使用しない
ON	書込	長め	30分	使用する

メインユニット設定スイッチ

	1 サイドブレーキ検出キャンセル	2 フット/PN切替	3 ホンダABS	4 L端子配線	5 スターターカット	6 シフトロックアダプター ※TE825/840のみ	7 OP出力端子	8 グロータイム
OFF	キャンセルしない	フット	非装着車	なし	使用しない	なし	A	8秒
ON	キャンセルする	P/N	装着車	あり	使用する	あり	B	5秒

ドアロック機能の配線に必要なアダプター等

本体 / ドアロック制御方式	TE840	TE825	TE590
マイナス制御の車	別売アダプター等は必要ありません	別売のドアロックコード（TE202）が必要です	
マイナス制御以外の車	店頭の車種別適合表を確認の上、指定されたドアロックアダプターが必要です		

ハーネスの各種コード差し込み場所

（コード側から見た図）
※コードはロックピンを一旦抜いて入れる

オプション端子（黄）に各種アダプターを接続する場合の設定方法

	メインユニット設定スイッチ No.6（シフトロックアダプター）	No.7（OP端子出力）
TE412/416	OFF（なし）	OFF（A）
TE413	OFF（なし）	ON（B）
RE220/221/222	ON（あり）	OFF（A）
レジェンド用DPSアダプター	OFF（なし）	ON（B）

★取付に関してのお問い合わせはこちらまでどうぞ…

■サービスセンター
☎(03)3320-9579（代表）
FAX.03-3320-9428
〒164-8611 東京都中野区弥生町3-35-13

警告・注意事項

⚠危険 マニュアル車へ取付けることは、絶対にしないでください。マニュアル車は、冬季にサイドブレーキの凍結を防ぐため、サイドブレーキを引かずにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れ駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。その際に、エンジンスターターを使用すると、無人走行の原因となり、思わぬ大事故につながります。

✕24V ●12V車専用です。トラックなどの24V車には、お取付けできません。
✕外車 ●外車には、取付できません。
✕キーフリー スマートキー ●キーフリーシステム・スマートキーシステム装着車には、取付できません。

●89年以前の車でシフトロックが装着されていない車（フットブレーキを踏まずにセレクトレバーが「P」から移動できる車）には、取付けできません。

●エンジン始動時に下記のような車には、お取付けできません。

［アクセル操作が必要な車］　［チョークレバーを引く車］　［年間通じて、キーを回して2秒程度でエンジンのかからない車］

●ホンダ車の雨滴感応式ワイパー装備車には、お取付けできません。取付すると故障の原因となります。

取付手順

※車両への配線を行なう際は、不意のショートを防ぐためバッテリーの⊖端子を外しておいてください。
※余った配線類はショート等を防ぐために確実に絶縁処理を行なってください。また、ワンタッチコネクターやハーネスなどの接続部分には必ず絶縁テープを巻いてください。

1. 取付け位置を仮決めする
2. 車種別専用ハーネス（別売）を車両に取付ける
3. アースコードを車両に取付ける
4. サイドブレーキ検出コードを車両に取付ける（必要な場合のみ）
   ※取付けた場合はメインユニット設定スイッチのNo.1をOFFにする
5. アンテナユニットをメインユニットに取付ける
   ※ダッシュボード上に固定する
6. イモビ付車対応アダプター（別売）をメインユニットに取付ける（必要な車種のみ）
   ※ニッサンシフトロックアダプター及びレジェンド用DPSアダプター（別売）が必要な場合も、ここで取付ける。
7. 車種別専用ハーネス（別売）の13Pコネクターをメインユニットに差し込む

⑧へ

8. P/N検出が行えるかどうか確認する（検出できない場合はフットブレーキ検出コードの配線を行ない、メインユニット設定スイッチのNo.2をOFFにする）
9. エンジンスターター機能の動作を確認する
10. ドアロック機能の配線を行なう（ドアロック適合車種にドアロック配線を行なう場合のみ）
11. ドアロックの動作を確認する（⑩でドアロック機能の配線を行なった場合のみ）
12. 内気温センサーを取付ける（TE840のみ）
13. メインユニット・アンテナユニットの設定スイッチを設定する
    ※結束バンド(大)でメインユニットをアンダーダッシュ内に固定する

完了